



北海道大学大学院医学研究科児童思春期精神医学講座
札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課

さっぽろ子どものこころの コンシェルジュ事業について

札幌市北区6班会議
平成28年10月20日 中島公博

こころと身体クリニック
医療法人社団
五稜会病院



札幌市児童精神科医療連携体制構築検討会議

報告書 平成27年3月24日

- 札幌市児童精神科医療連携体制構築検討会議座長 傳田健三
- 副座長 北海道こども心療内科 氏家 武

- ▶ 昭和9年～平成24年 札幌市立精療院⇒児童診療センター
- ▶ 平成24年 札幌市立病院本院移転・「精神科医療センター」
- ▶ 平成25年10月「札幌市の児童精神科医療のあり方」答申
 - ▶ 「児童精神科医療機関同士等のネットワークの構築」
 - ▶ 「寄附講座の設置」
 - ▶ 「児童心療センターの病棟の福祉施設化」
 - ▶ 「市立札幌病院における児童精神科医療の実施」
- ▶ 平成26年5月～1年間検討
 - ▶ 「さっぽろ子どもの心の診療ネットワーク事業」の実施
 - ▶ 全国に誇れる「札幌市モデル」の児童精神科医療体制確立

3

事業開始までのプロセス（関係機関等への周知方法等）

平成27年1月
札幌市内の小児科、精神科等を標榜する
全ての医療機関（376）
関係福祉機関等（88）にアンケート調査を実施

3月 札幌市児童精神科医療連携体制構築検討会議から報告

7月 札幌市の補正予算議決
正式な参加・活用意向を関係機関に照会
コンシェルジュ実施機関の公募

5ヶ所の医療機関

平成27年10月19日 事業スタート

4

さっぽろ子どもの心の診療ネットワーク 事業の事業概要

「さっぽろ子どもの心の診療ネットワーク事業」は、以下の2つの事業の実施により、児童精神科医療を中心とした関係各機関のネットワークを構築・運用し、札幌市全体において、心の悩みを抱える子どもや発達障がいのある子どもへの支援体制の向上を目指す事業です。
(平成27年10月19日事業開始)

さっぽろ 子どものこころの連携チーム事業

北海道大学大学院医学研究科（児童思春期精神医学講座）と札幌市の共同事業

- 関係機関の代表者からなる連携チームを構成し、連絡会議を開催します。
- ネットワークを構成する関係機関を対象とした研修会等を実施します。
- ネットワークを構成する関係機関に医学的見地からの助言等を行います。
- 右記コンシェルジュ事業を総括し、コンシェルジュ実施機関の支援を行います。

さっぽろ 子どものこころのコンシェルジュ事業

市内5カ所の医療機関が札幌市からの委託等により行います。

- ネットワークを構成する関係機関や市民からの依頼により、関係機関や本人の希望も考慮しながら、より適切な児童精神科医療を扱う医療機関をご案内します。
- 児童精神科を扱う医療機関からの依頼により、一般の小児科や精神科の医療機関や教育・福祉等、より適切な支援機関をご案内します。

5

札幌市ホームページ（平成28年10月18日更新）

① さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業

関係機関や市民からの依頼を受け、より適切な医療機関等を案内(コンシェルジュ)します。

事業の詳細は、「パンフレット(市民向け)」または「活用ガイドブック(関係支援機関向け)」をご覧ください。

相談受付時間は平日の10時から15時までです。

※ 利用はあくまで任意であり、本事業を経由しない医療機関の受診や紹介を妨げるものではありません。

```

            graph TD
            A[心の悩みを抱える子ども・  
発達障がい疑われる子ども] -- 相談 --> B[福祉施設、教育機関、  
保健センター、一般の小児科等]
            B -- 相談 --> C[コンシェルジュ事業実施機関]
            C -- 案内 --> D[児童精神科医療を扱う医療機関]
            C -- 相談 --> E[福祉施設、教育機関、  
保健センター、一般の小児科等]
            E -- 相談 --> A
            
```

コンシェルジュ事業実施機関一覧

機関名	担当区	相談電話番号
北海道こども心療内科氏家医院	中央区・東区	080-3231-6164
五稜会病院	北区	011-771-5660
楡の会こどもクリニック	厚別区	011-898-4766
子ども心身医療センター・地域支援室	白石区・豊平区	080-3111-8061
ときわ病院(相談室こすもす)	清田区・南区	011-593-0556
ときわ病院(相談室あじさい)	西区・手稲区	080-2878-0556

6

子どもの精神科医療の現状

「子ども」を診ている病院の待機期間の状況

病院によってできることが異なる

治療の対象が病院によって異なる

「精神科」であればすぐにどこでも受け入れてもらえる・・・というわけではないのが現状です。

病院を適切に選んで意外と難しい・・・

7

思春期にみられる精神的な不調

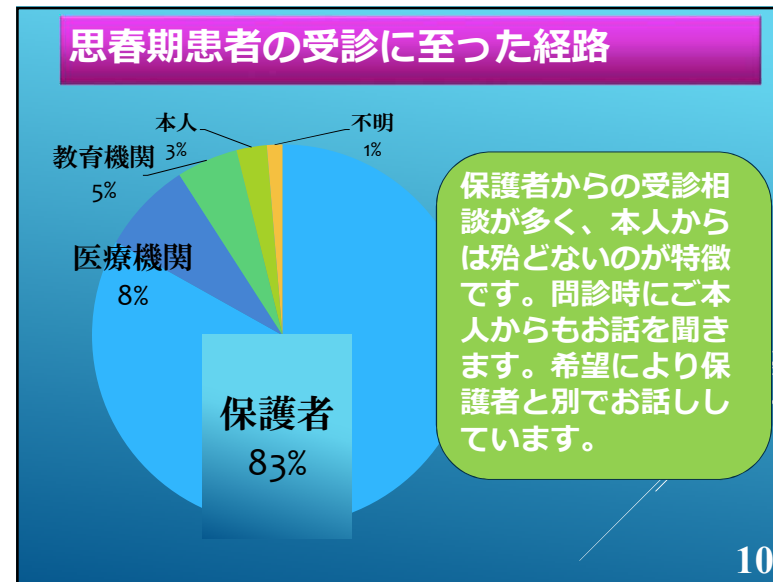
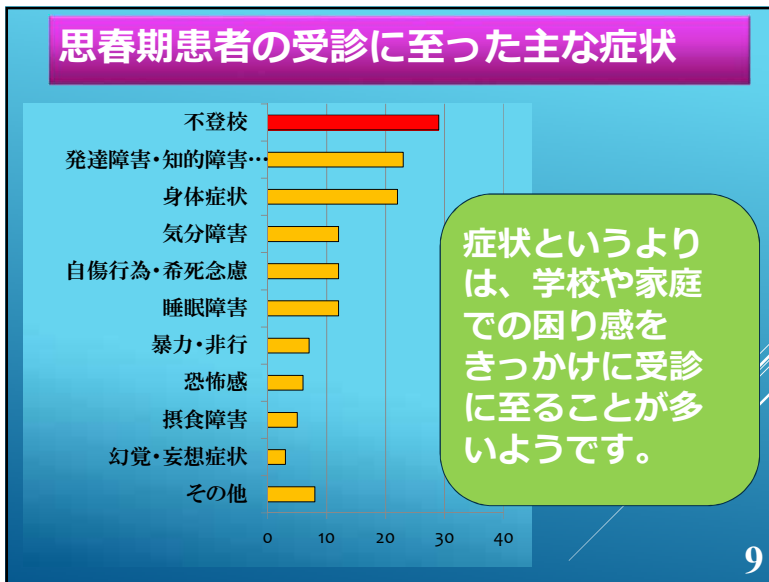
- ▶ 不安感・イライラ感
- ▶ 腹痛など身体的な不調
- ▶ 過呼吸などパニック発作
- ▶ 発達障がい
- ▶ 摂食障害

- ▶ 不登校
- ▶ ひきこもり
- ▶ 家庭内暴力
- ▶ 昼夜逆転した生活
- ▶ ネット・ゲームへの依存
- ▶ 自傷行為

これらは、「=病気」ではありませんが、これらの問題行動の裏に精神的な疾患や障害が隠れている場合もあります。

- 思春期特有の不安定さや対人関係の複雑さから露呈しやすい。
- 明らかな精神症状ではない状態像も多い。

8



家族支援・家族会

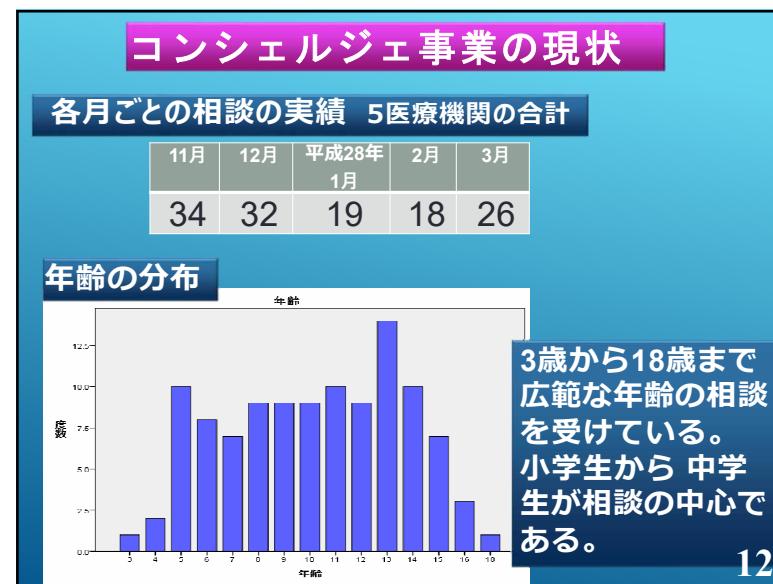
将来が心配・・・
家族の対応は？
うちの子だけ？
この病気って？

◆ 思春期・青年期家族会
◆ 疾患教育家族会
◆ 統合失調症家族会

◆ 悩みの共有・疾患や社会資源についての学習・情報交換の場として活用していただいています。
◆ 家族が語る体験談が他の**家族の力**になります。

▶ 本人を支えるご家族も不安や悩みを抱えています。五稜会病院では、同じような悩みを抱えるご家族にお集まりいただき、家族会を行っています。

11



さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業のメリット

1. 札幌市内の児童精神科医療を中心とした各機能の全体像を把握しつつ、必ずしも明確化されていない児童精神科医療が担うべき役割、福祉機関や教育機関が担うべき役割の整理、周知が可能となる
2. 札幌市内の患者側のニーズ、医療機関等の状況を把握し、調整を行うことで、新規患者の受診待機期間の短縮や入院治療が必要なケースへの対応を円滑に行うことが可能となる。今後の施策立案に生かすことが可能となる
3. 概念的な事業のみでは、事業そのものが抽象的なものになり、実効性がないものとなってしまふ恐れがあるが、具体的なネットワークや連携体制の構築・運用を行うことができる

13

さっぽろ 子どものこころのコンシェルジュ事業

こころなび

札幌市では、こころの悩みを抱える子どもや発達障がいのある子どもが、より早く、適切な医療機関や福祉機関での支援を受けられることができるよう、適切な医療機関等を案内(コンシェルジュ)する事業を開始します。



対象となる子ども

原則、中学生までの子どもとします。
(発達障害のある子ども、こころの悩みを抱える子ども、コンシェルジュが実施する事業に直接関係がない)

こころの悩みを抱える子ども
① 不安障害、うつ病、摂食障害等が疑われ、治療を必要とする子ども
② 発達障がいの疑いのある子ども
③ 自閉症やADHDなどが疑われ、診断や治療を必要とする子ども
④ 児童精神科等を扱う医療機関での一定の治療後に福祉等関係機関での支援が必要な子ども

関係支援機関や本人の希望も考慮しながら適切な支援機関を御案内します。【利用方法は別冊をご覧ください】

札幌市医療福祉関係がいっしょに連携支援体制を構築

さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業 利用方法

心身の悩みを抱える子ども・発達障がいがある子ども
親戚、相談等を行っている医療機関、福祉機関、保健センター、スクールカウンセラー等に、まずは、ご相談ください。

日常的に相談や支援を行う機関

教育機関 学校、幼稚園、児童発達支援等 母子保健機関 各保健センター	医療・福祉機関 児童精神科、相談児童精神科、児童発達支援等 医療機関(一般) 一般の小児科、一般の精神科等
---	--

児童精神科医療が必要な子どもの相談を受け付け、適切だと見られる医療等の利用につながる支援機関も案内させていただきます。

コンシェルジュ事業 実施機関

【相談受付時間】平日のみ 10:00-15:00

中央区・手稲区に所在する子ども 北海道こども心療内科医療院 【電話番号】080-3231-6164 (受付時間:10:00-19:00) 【所在地】札幌市中央区南一条西3丁目2-37	東区・南東区に所在する子ども 子ども心療センター増城支店 【電話番号】090-3111-8061 (受付時間:10:00-19:00) 【所在地】札幌市東区南一条西1丁目1-21 5C209
北区・東区に所在する子ども 五稜会病院 【電話番号】011-771-5680 (受付時間:10:00-19:00) 【所在地】札幌市北区北一条西5丁目2-3	南区・西区に所在する子ども とぎわ病院(相談こころすま) 【電話番号】011-593-0556 (受付時間:10:00-19:00) 【所在地】札幌市南区南一条西3丁目17番0-1

自治体・関係機関に所在する子ども
札幌市保健福祉関係がいっしょに連携支援体制を構築

※詳細は別冊をご覧ください。任意の医療機関

配付先

①活用意向を示していたいた140ヶ所の医療、福祉機関等
②札幌市内の小学校、中学校
③配布希望のあった保育所、幼稚園、私立中学、高校等
5,000部作成 約3,000部配布済み

14

札幌子どものこころの診療懇話会 平成26年10月

- ▶ 近年、わが国では、不登校、いじめ、自殺、児童虐待、引きこもりなどの子どものこころの問題への社会的関心が高まっています。このような問題の背後には、うつ病、注意欠如・多動性障害(ADHD)、自閉症スペクトラム障害(自閉症、アスペルガー障害など)、不安障害などの医学的に治療が必要な子どもたちも数多く存在します。
- ▶ わが国では、このような状態を呈する子どもたちの受診が増しているにもかかわらず、児童思春期のこころの問題に関する資源は少なく、十分な治療・介入が行われていないのが現状です。医療における児童思春期精神医学の重要性はますます高まっています。そのような社会的要請を受け、2014年4月、北海道大学医学部に児童思春期精神医学講座が新設されました。
- ▶ 本会は札幌市における児童思春期精神医学の関連領域に従事する小児科医および精神科医が集まり、研究・学習・情報交換を行うことにより、児童思春期精神医学についての相互理解を深め、有機的な連携をはかること、さらには札幌市の児童思春期精神科医療の発展に資することを目的としています。

15

まとめ

1. さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業についての概要
2. 五稜会病院における子ども・思春期の対応について
3. コンシェルジュ事業は、外来のトリアージ機能としての適切な役割を果たしている
4. コンシェルジュ事業への相談の大半が家族からで、一次機関との連携が大切、定期的なコンシェルジュ施設との連携会議を開催
5. 平成28年度から市立札幌病院が連携会議に参加、入院のニーズに適切に答えられる体制づくりを行っている(病床3床確保)

16